

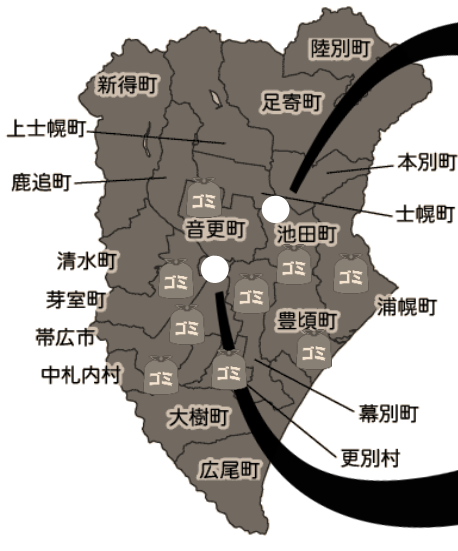
## 昨年度までの検討経過

十勝圏複合事務組合では、現在、1市6町2村(帯広市、音更町、芽室町、幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町、中札内村、更別村)から発生するごみをくりりんセンター(焼却処理施設、大型・不燃ごみ処理施設)で処理を行っています。

建設後20年以上が経過し、老朽化が進んだことから、当組合では、再度延命化して継続使用するか、または、新たに施設を整備するかについて検討を重ねてきました。その結果、平成38年度以降については、新施設を整備し、ごみ処理を実施していくことが望ましいという結論に達しました。

施設整備の基本的な方向性を定めるため、平成29年度に新中間処理施設整備検討会議を設置し、今年度からは、新中間処理施設整備基本構想の策定に取り組みます。

## ごみ処理施設位置図



### うめ〜るセンター美加登(一般廃棄物最終処分場)



供用開始  
平成23年4月1日  
埋立容量  
31,200m<sup>3</sup>  
計画期間  
15年間

### くりりんセンター(一般廃棄物中間処理施設)



供用開始  
平成8年10月1日  
焼却処理施設  
330t / 日 (110t / 24h × 3炉)  
大型・不燃ごみ処理施設  
110t / 5h

## これまでの検討経過

### 検討の視点

- 施設整備の方向性は？
- 処理の方法は？
- 事業の方式は？
- どこに建設するのか？



平成29年度は、構成市町村及び十勝総合振興局で構成する検討会議を6回開催しました。主な検討結果は、以下のとおりです。

## 1. 施設整備の方向性は？

新施設整備の方向性について、様々な視点から当組合と19市町村が共通認識に立って検討を進めています。

環境への配慮

安全かつ安定した稼働

資源循環と省エネ・創エネへの対応

災害に強い処理システムの確保

整備から運転・維持管理までの経済性

5つの視点のバランスを重視して検討しています。

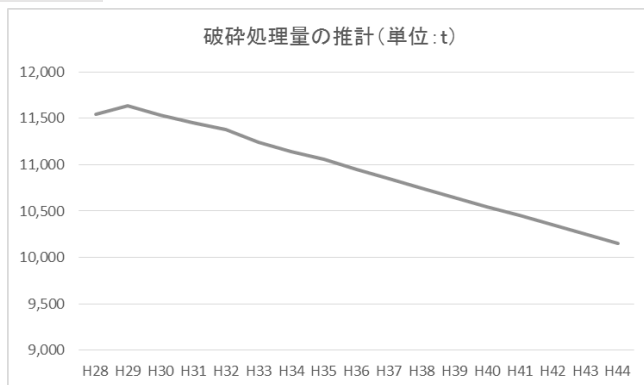
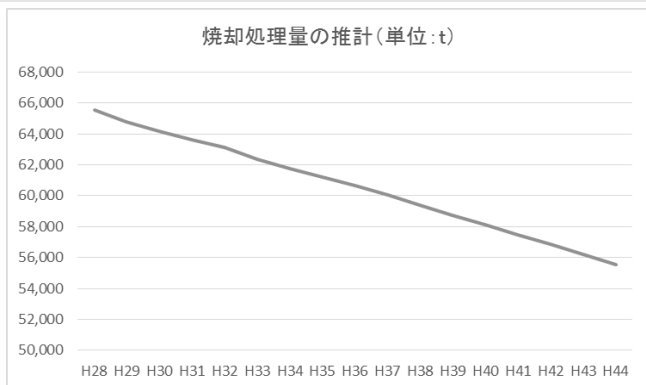


国の整備方針である廃棄物処理の広域化や民間活力の活用などにも留意しつつ、十勝の自然環境、産業などの地域的な要素にも配慮した施設づくりを進めます。

## 2. 処理の方法は？

施設の大きさ(規模)は、人口減少に伴ってごみが減っていくことから、現在よりも小規模の施設になることが想定されます。

平成28年度一般廃棄物中間処理施設整備検討業務報告書より



### ◆想定される処理の規模

※9市町村に加え、清水町を含めた試算結果です。

| 施設          | 現在の施設                | 想定施設 (H29.2試算時)      |
|-------------|----------------------|----------------------|
| 焼却処理施設      | 330t / 日 (110t × 3炉) | 230t / 日 (115t × 2炉) |
| 大型・不燃ごみ処理施設 | 110t / 5h            | 40t / 5h             |

平成30年度末を目途に共同処理の構成市町村を集約し、施設の規模を固めます。

### ◆処理方式について

処理方式は、ごみ処理システム全体に及ぼす影響が大きいことから、衛生処理の安定継続、二酸化炭素の排出抑制など多様な観点から総合的に判断する必要があります。

ごみ処理のあり方を検討した項目

分別等の住民負担や収集運搬の自治体負担

循環型社会の形成(生ごみや廃プラスチックの資源化)

最終処分量の削減

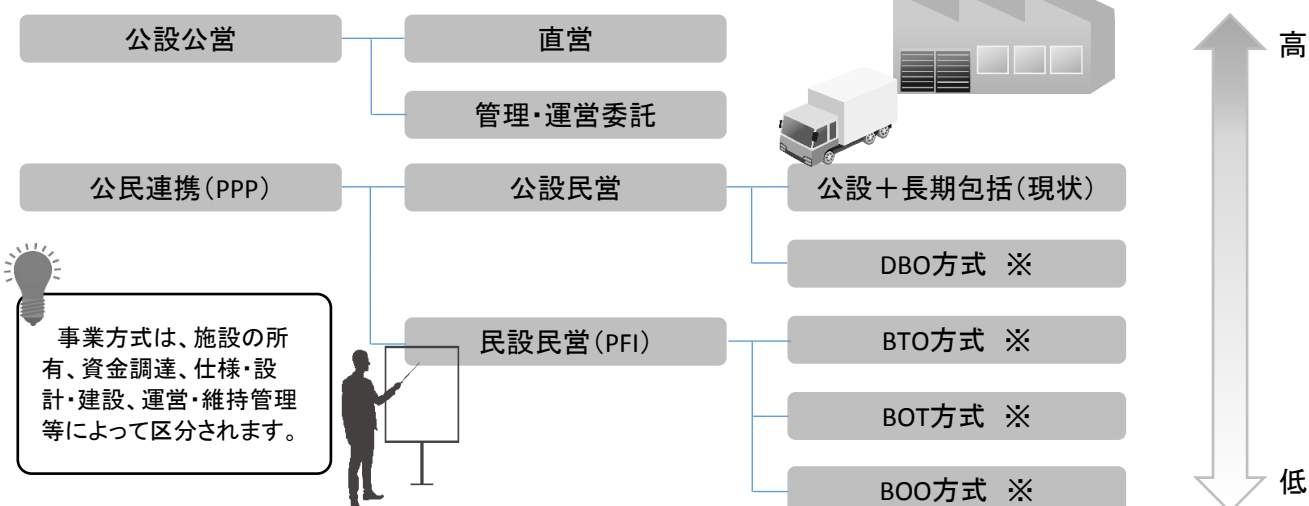
二酸化炭素の排出抑制

自治体の財政負担

## 3. 事業の方式は？

国は、民間の資金や経営能力などを活用するよう方針を掲げています。かつては「公設公営方式」が主流でしたが、新施設においては「公民連携方式」の検討が必要です。

### ◆事業方式の種類



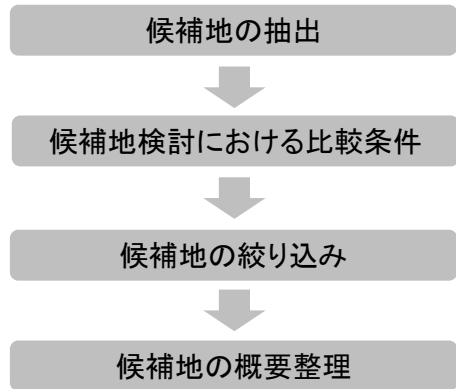
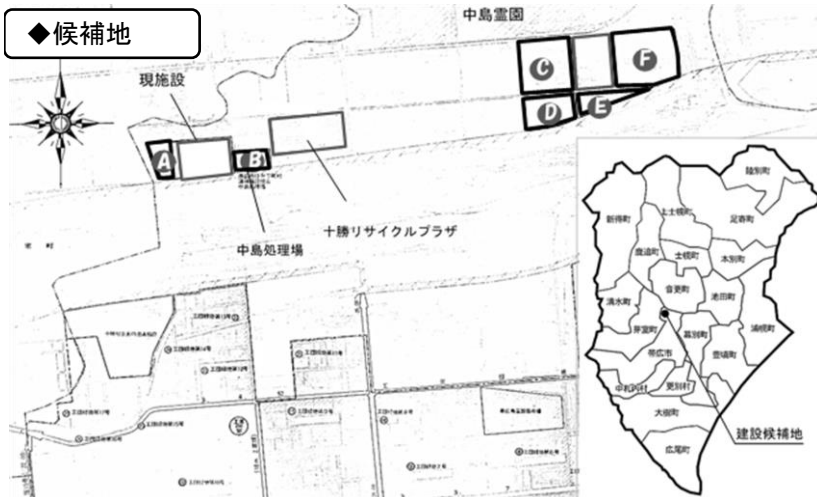
|       |  |
|-------|--|
| DBO方式 | 民間(設計・建設、運転・維持管理) 行政(仕様、資金調達、モニタリング)                                 |
| BTO方式 | 民間(仕様、設計・建設、運転・維持管理、資金調達) 行政(資金調達、モニタリング)<br>金融(モニタリング)              |
| BOT方式 | 民間(仕様、設計・建設、運転・維持管理、資金調達) 行政(モニタリング)<br>金融(モニタリング) ※事業終了後、行政に施設所有権移管 |
| BOO方式 | 民間(仕様、設計・建設、運転・維持管理、資金調達) 行政(モニタリング)<br>金融(モニタリング) ※事業終了後も民間が施設所有権維持 |

他自治体の事例や交付金、起債の活用を勘案し、  
**DBO方式とBTO方式に重点を置いて検討を進めていきます。**



#### 4. どこに建設するのか？

面積、周辺環境、地形などを加味して候補地の選定を進めています。



| 候補地 | 面積    | 所有状況 | 現状      | その他    |
|-----|-------|------|---------|--------|
| A地区 | 2.5ha | 組合敷地 | パークゴルフ場 |        |
| B地区 | 1.9ha | 組合敷地 | 中島処理場   |        |
| C地区 | 6.2ha | 民有地  | 畑       | 農業振興地域 |
| D地区 | 3.7ha | 民有地  | 畑       | 農業振興地域 |
| E地区 | 2.4ha | 民有地  | 畑・不整形地  | 農業振興地域 |
| F地区 | 7.9ha | 民有地  | 畑       | 農業振興地域 |

**検討のポイント**  
施設の規模、法律的制約、候補地の現況等を踏まえて検討し、2地区に絞り込みました。



**昨年度の検討会議において、C地区とF地区に絞り込みました。**

#### 5. 新施設稼働までの流れ

| 項目            | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 | H38 | H39 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 施設整備基本構想      | ←→  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 循環型社会形成推進地域計画 |     | ←→  |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 施設整備基本計画      |     |     | ←→  |     |     |     |     |     |     |     |
| 生活環境影響調査      |     |     |     | ←→  |     |     |     |     |     |     |
| 事業者募集・選定      |     |     |     | ←→  |     |     |     |     |     |     |
| 施設設計・建設       |     |     |     |     | ←→  |     |     |     |     |     |
| 新施設稼働         |     |     |     |     |     |     |     |     |     | ★   |